

2012年7月2日

報道関係者各位
プレスリリース

みんなで作る
うどん県電力
株式会社

会社名：うどん県電力株式会社
代表者：代表取締役 十河 正信
問合せ先：(087) 879-0808
電工社エンジニアリング内

うどん県電力株式会社設立ならびに地域密着・小規模分散型太陽光発電事業開始のお知らせ ～香川県内初の地域資本共同出資型再生可能エネルギー発電事業～

株式会社電工社エンジニアリング、三電計装株式会社、株式会社ヒロセー、株式会社インテグリティエナジーは、本日7月2日に香川県内資本としては初となる地域資本共同出資型の再生可能エネルギー発電事業会社である「うどん県電力株式会社」を設立、地域共同出資会社として再生可能エネルギー事業を立ち上げます。地域密着・小規模分散型の第一期発電事業として、高松市国分寺新名地区に630kW太陽光発電所を設置、2013年1月の運転開始を目標に建設着工を開始致します。

東日本大震災とそれに続く東京電力福島第一原発事故は図らずも我が国のエネルギー概念に大転換をもたらしました。これからは地域コミュニティ主体でエネルギーを自己防衛する時代になるものと我々は考えます。いま確実に歴史は動き始めており、地域事業主体のエネルギーシフトを軸としたパラダイムシフトが始まっています。また7月からの固定価格買取制度の開始に伴い、我が国における再生可能エネルギー普及における制度としての前提が整いました。県下においても、国内有数の自然環境条件（日射量）を活かしたソーラー事業計画が発表され、再生可能エネルギーを利活用しようとする機運が県民レベルでも醸成されつつあります。

我々は、かかる再生可能エネルギー固定価格買取制度を前提とし、地域毎の自然特性・コミュニティ特性・地域活力を活かし、未来志向的で小規模分散型のエネルギー社会の実現に向けて、地元志本（資本）・地元志民（市民）・地元志金（資金）の自助努力に基づき、強かに準備を行っていくことが重要であると考えます。地域資本主体の再生可能エネルギー事業を主体的創発的に組成・立ち上げることで、地域コミュニティの世代継承性・持続可能性・域内循環性の向上を目指すと共に、地域社会の生業という生態系の継続的持続的発展の為に微力ながら尽力する次第です。

事業基本方針としては、環境負荷の低減と持続可能なエネルギー供給という観点から、県下の遊休地を有効利活用する「ため池」的小規模分散型太陽光発電所の建設を行います。当該事業趣旨にご賛同頂ける県民・市民の方や事業者と連携し、地域・民間主導にて発電事業を推進すると共に、事業収益の一部を修繕積立金としてプールし、将来的な蓄電池増設も視野に入れ、地域防災拠点として育てて参ります。再生可能エネルギーによる発電事業を通じての将来を見据えた地域貢献・地域活性化こそが当社の最大の使命であり、地域社会の持続的発展に向けて主体的創発的に取り組んで参ります。

UDONパワー始動!

【うどん県電力株式会社の概要】

会社名	: うどん県電力株式会社
設立日	: 2012年7月2日(うどんの日)
資本金	: 1,000万円
事業年度	: 毎年4月1日~翌月3月末日
所在地	: 高松市香南町西庄248-1(電工社エンジニアリング内)
代表者	: 代表取締役 十河 正信
設立時取締役	: 株式会社電工社エンジニアリング 代表取締役会長 十河 正信 三電計装株式会社 代表取締役 和田 成登 株式会社ヒロセー 取締役営業部長 本家 正雄 香川県議会議員 竹本 敏信 株式会社インテグリティエナジー 代表取締役 北角 強
設立時監査役	: 生駒学税理士事務所 税理士 生駒 学

【第一期国分寺新名マイソーラー発電所の計画概要】

発電所名	: UDONパワーマイソーラー国分寺発電所
事業予定地	: 高松市国分寺新名柏原共有山林地内
設置面積	: 約6,000㎡
システム容量	: 630kW
年間想定発電量	: 約70万kWh/年
使用パネル枚数	: 約2,520枚(三菱電機製)
売電事業開始	: 2013年1月(予定)



【第二期以降のマイソーラー発電所の計画予定】

県内遊休地を活用した1000kW程度の小規模分散型太陽光発電設備(UDONパワーマイソーラー発電所)を毎年継続的に設置して参ります。また将来的には匿名組合型の市民ファンド(仮称:UDONパワーマイソーラーファンド)の組成も主体的積極的に手掛ける予定です。